

緩和ケア通信 平成31年第1号

津島市民病院緩和ケア病棟理念

- つね(常)に寄り添い
- しんし(真摯)な心で
- まごころ(真心)こめて
- その人の持つ生きる力を支援いたします

もっと知って！緩和ケアQ&A

Q. 鎮痛剤が飲めなくなってきました。痛みのコントロールは内服の他に
なにか方法があるのでしょうか？

A. ★痛み止めに限らず、内服困難な患者さんに必要な薬剤を投与する時には、一般的に坐薬・注射薬・貼付薬を選択することになります。
★注射の場合は血管内に直接薬液を入れる方法以外に、小型シリンジポンプを用いて皮下に直接薬液を注入する方法があります。
★ポンプを使用することで痛みが強いつきは、まとまった量を注入することができ、屯用の痛み止めと同様の効果を得ることができます。小型なので肩にかけて移動することもできます。患者さんの負担が少ないことから緩和ケアの領域では頻りに利用されています。

疼痛コントロールについては
緩和ケアチームが介入することもできます



カバーホルダー

電源コード

小型シリンジポンプ

1月11日は鏡開きでぜんざいをスタッフとボランティアさんが作り、患者さんやご家族に味わっていただきました。

2月1日は節分の豆まきを行いました。
高塚先生が赤鬼に扮して厄を追い払いました。

鬼は外・福は内
痛い痛い飛んでいけー！



次回お茶会のお知らせ

3月1日(金)・3月15日(金) 4月26日(金)

場所：6階西病棟談話室にて 時間：14時～

緩和ケア病棟の桜のつぼみもふくらんできました。
桜を眺めながら患者さんとご家族との時間を一緒に過ごしたいと思います。

参加希望の患者さんは病棟の看護師に声をかけて下さい